

市立の認定こども園・保育所においては現状を分析し、今後の教育・保育に役立てる取組をしています。職員に求められる資質・安全管理・教育・保育の基本を抜粋し表記しております。

令和6年度	職員に求められる資質	安全管理	乳幼児の教育保育内容
精道こども園	・多くの職員が、こども園においての勤務にあたり、子どもたちはじめ、保護者や地域の方と笑顔で接し、職員間においても円滑なコミュニケーションを図ろうとしている。そのため、園内は概ね良い雰囲気だと感じている。 ・日頃の勤務内容を振り返り、質の向上に努める職員が多かったため、今後も話し合い等を通じて振り返りを行いたい。	・危機管理について、どう行動すべきか、迷う声もあったため、災害時の対応については、毎月の避難訓練でいろいろな状況を想定して行うようにしたことで、職員が的確な行動を取れるようになった。 ・災害時の備蓄用品等について保管場所や使い方などを把握できるように園内研修を行ったり、会議等で共有を図ったりした。	・ほとんどの職員が子どもたちの成長発達を理解し、一人ひとりに寄り添った教育保育内容を提供できるように努めている。今後も研修会やカリキュラム検討会議等も通じて、子どもたちにより良い教育保育内容を提供していくとともに保育者の質の向上にもつなげたい。
西藏こども園	・多くの職員が、仕事に誇りを持ち、仕事に取り組むことができている。 ・園の規模が大きく、様々な職種・時差勤務の職員も多いが、職種を問わず、職員間のコミュニケーションを図ろうとしている。 ・今後も職員間の連携を密に行い保育の質の向上に努めたい。	・安全管理・危機管理については、避難訓練だけでなく、防災教育として捉え、計画を立て行なった。様々な時間帯に行うことでほとんどの職員が参加することができ、改めて指示系統や避難経路の確認を行うことができた。 ・出火場所に偏りがあったため、来年度は一覧にし、様々な状況での訓練を行い、臨機応変に対応できるようにしていく。	- ほとんどの職員が一人一人の成長や過程を理解しながら日々、教育・保育を提供することができるよう努めている。 ・環境・幼児理解の研修、園内研修を行う事でより、一人一人の子どもの読み取りを行い、職員間での共有も行った。今後もより丁寧な教育・保育を行ってきたい。
岩園保育所	・多くの職員が誇りをもって仕事に取り組むことができている。保護者や地域の方とも積極的にコミュニケーションを図れるよう努めている。 ・年齢、職種等様々な職員が時間差勤務しているが、人数や規模的にもコミュニケーションが取りやすく、様々な話題や子どもの状態を皆で共有しながら進められている。 ・今後も職員間の連携を密に行い、円滑な保育所運営の中で保育の質の向上に努めていく。	・安全管理・危機管理については、常に意識が持てるよう毎月の避難訓練で様々な状況を想定して行う。開閉所時間内の様々な時間帯を想定することで、全職員が参加することができた。また、そのことで災害時への対応を改めて意識する機会となっている。急な災害への対応に不安を感じている職員もいるため、状況に応じた対応の仕方や避難経路の周知に務めている。	・ほとんどの職員が子どもたちの成長や発達の過程を理解し、一人ひとりに寄り添った教育保育内容を提供できるように努めている。 ・定期的なカリキュラム会議で出された課題や情報を職員間で共有し、互いにアドバイスやアイデアの提供をするなど改善へ向けて取り組んでいる。保育環境を改めて見直し、研修会での講師の指導助言を教育保育で実践するなど、日々の生活や活動に活かし、子どもたちが安全で過ごしやすい環境作りに努めている。
緑保育所	・多くの職員が誇りをもって仕事に取り組むことができている。 ・立場、年齢、経験、職種等様々な職員がいる中、誰もが発言しやすい環境を整えられるよう、よりコミュニケーションを図っていく。 ・職員間で教育、保育内容や子どものこと等を振り返る機会をもち、質の向上に努める。	・災害訓練の時間帯などで参加できない職員も少数いる。災害訓練の実施時間などを工夫するなど多くの職員が対応できるようにする。 ・保護者への引き取り訓練などが実施しにくい、引き取り訓練の依頼の練習など多方面で取り組んでいきたい。	・ほとんどの職員が子どもたちの成長発達を理解し、一人ひとりに寄り添った教育保育内容を提供できるように努めている。 ・乳幼児の保育環境を見直すため、研修の機会を設け、職員同士で子どもにとってより良い生活が送れるように話し合った。職員で共有したことを実践し、子どもが夢中になって遊べる環境をつくるなど保育の質の向上にも繋げている。